

# エクスカージョン旅程表

## (②石巻・女川コース)

日時	行程	備考
2025年 3月10日 (月)	<p>仙台駅東口発 08:30 貸切バスにて石巻・女川へ</p> <p>10:15 震災遺構大川小学校着～原告遺族、またはご遺族ご案内施設見学～</p> <p>発 11:30</p> <p>国道 398 号線 リアスブルーライン走行</p> <p>(途中、雄勝町 海岸線の美術館見学)</p> <p>12:30 女川町着～見学～発 14:30</p> <p>(シーパルピアにて自由昼食・散策・旧女川交番見学)</p> <p>女川より万石浦を車窓に見ながら、石巻市へ</p> <p>(途中、石巻市魚町かさ上げ道路走行)</p> <p>15:15 石巻南浜津波復興祈念公園着～公園内見学～発 16:30</p> <p>(震災遺構門脇小学校・がんばろう！石巻看板など散策)</p> <p>17:30 仙台駅東口着・解散</p>	

## ②石巻・女川コース（3月10日終日）7,000円

・大川小学校

元) 石巻市 HP



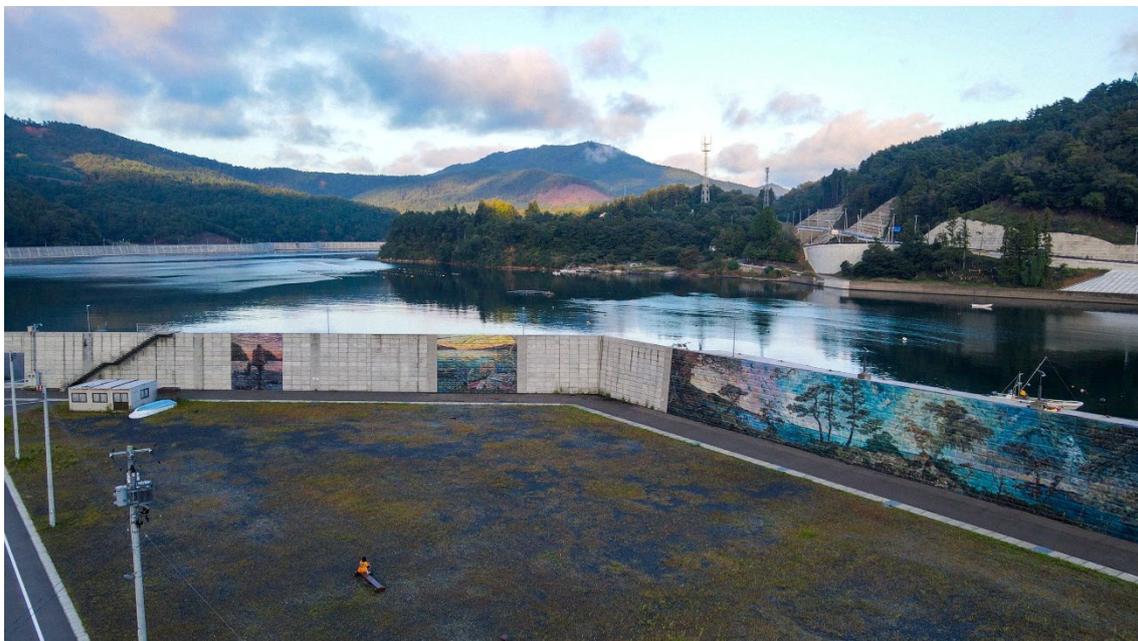
大川小学校は犠牲者の慰霊・追悼の場であり、震災の出来事や避難の重要性を伝えるとともに、防災や減災、判断や行動、いのちについて考える防災教育の場として公開しています。

Website: <https://www.ishinomakiikou.net/okawa/>

※当日は原告遺族、またはご遺族がご案内していただきます。

・海岸線の美術館

元) 海岸線の美術館 HP



灰色の防潮堤を芸術の力で色彩豊かな壁画群に。

宮城県石巻市雄勝町にある美術館。

2011年3月11日の東日本大震災で20mの津波が襲い町の8割が壊滅した雄勝町。震災後、雄勝町の海岸線を囲うように建設された高さ最大10m/全長約3.5kmの巨大防潮堤に壁画を描くアートプロジェクト・建築。壁によって海の風景を見ることができなくなった海岸線に、地域住民や全国の方を巻き込みながら壁画をつくり、新しい風景を生み出すことで人と防潮堤の新たな関係性を築きます。

日本の誇りである東北の美しい海岸線の風景。再開発などで美しい風景が日々失われているこの日本で、大きな力に依拠しない、そこに住む我々ひとりひとりが理想だと思える風景を作りつづけていく活動です。

・シーパルピア

元) シーパルピア HP



自由昼食会場

Website: <http://onagawa-mirai.jp/>

・旧女川交番

元) 女川町 HP



旧女川交番は、鉄筋コンクリート造2階建てで、東日本大震災における津波の引き波により、基礎部分の杭が引き抜かれ横倒しになったと考えられており、鉄筋コンクリート造の建物が津波で倒壊・転倒した事例は世界的にも珍しいものです。

震災の記憶と教訓、また復興の歩みを後世へと引き継ぐとともに、未来に生きる人々が同じ悲しみを味わうことの無いように願い、震災遺構として保存されることになりました。交番を囲う壁には、震災前の町の様子や被災状況、まちづくりの過程などを記したパネルを展示しています。

Website: [https://www.tohokukanko.jp/attractions/detail\\_1006325.html](https://www.tohokukanko.jp/attractions/detail_1006325.html)

・石巻南浜津波復興記念公園

元) 石巻南浜津波復興記念公園 HP



この地に整備される復興祈念公園は、宮城県、さらには被災地全体のかなめとなる復興祈念公園として、この地のみならず東日本大震災で犠牲になられたすべての生命（いのち）に対する追悼と鎮魂の場となるとともに、東日本大震災の記憶と教訓を後世に伝える拠点となり、さらには、かつて市街地であった場所に公園の整備を通じて人々が係わり、人と人との絆、つながりを築いていくことにより、東日本大震災からの復興の象徴となるものです。

Website: <https://ishinomakiminamihama-park.jp/>

・門脇小  
元) 石巻市 HP



門脇小学校は津波火災による被災状況を残す全国で唯一の震災遺構として、  
平時における訓練の重要性や避難の在り方を考えてもらうとともに、  
生命の尊さや自然と共に生きることを改めて知ることの大切さを伝えています  
Website: <https://www.ishinomakiikou.net/kadonowaki/>

・がんばろう！石巻

元) 震災伝承ネットワーク協議会事務局 HP



東日本大震災より一か月、津波に負けたくない地域を励ましたいと、地元の有志により書かれた看板です。現在は震災の教訓を次世代に伝える施設として、5年おきに地元の中学生と作り替えて記憶と、記録の継承として継続して展示しています。石巻南浜津波復興祈念公園内において、震災伝承の拠点として「場」の提供を行っています。さらに、南浜サテライトスタジオの設置により、配信での拠点としての充実を図るとともに、語り部活動も実施しています。

Website : <https://www.thr.mlit.go.jp/shinsaidensho/facility/miyagi-3-028.html>